

**奄美群島振興開発計画（原案）に係る
パブリック・コメントにおいて提出された意見等に対する県の考え方**

番号	意見等の概要	県の考え方
1	奄振交付金は地元が決めていいはずである。どこで決めているかはっきりして欲しい。県がきめることはできないはずである。また、県も地元と解釈するのであれば、公共部門と違わないはずであるので、わざわざ地元というはずはない。	奄振交付金は、奄振法第8条及び第9条の規定に基づき、奄美群島市町村の意見を踏まえ、鹿児島県又は奄美群島市町村が実施する事業に関する交付金事業計画を鹿児島県が作成し、当該計画に基づき国から交付されるものです。
2	おがみ山トンネルは県の事業であるはずなのに奄振の枠にいれていいのか？	奄振予算を活用して実施される事業については、奄美群島振興開発計画に基づき、県や市町村等において実施されています。 なお、県事業であるおがみ山トンネルの整備については、奄美群島振興開発計画に基づく事業として、奄振予算（公共事業）を活用し実施しているところです。
3	移住者を促進する施策より、人口が減少したなかで困ることを克服する施策を実施して欲しい。移住者はメリットよりトラブルのもとであることが大きい。	奄振事業において、奄美群島の地理的及び自然的特性を生かし、定住促進、交流拡大、条件不利性の改善、生活基盤の確保・充実、産業の振興、地域主体の取組に係る施策の展開を図っています。 また、急速な高齢化と人口減少が同時に進行するなかで、産業振興や地域の活力維持・活性化を図っていくためには、移住や地域間交流を促進し、地域づくりの担い手となる人材を確保・活用することが重要であると考えています。 ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
4	クルーズ船は地元にお金をおちることが少なく、ゴミとかトイレでのマナーなど副作用が大きく行政が援助するのはやめて欲しい。メリットが多ければ、民間は必ず動くはずである。	奄振計画において、奄美群島の魅力や特性を生かし、奄美のブランド化を図りながら、国内外からの誘客施策や一人あたり観光消費額増加に向けた施策を展開することとしています。 また、富裕層をはじめ外国人観光客の来訪を促進するため、クルーズ船が利用する港湾施設の機能向上や、受入環境の整備を推進することとしています。いずれの取組も官民が連携して推進することとしております。 ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
5	奄振交付金は例えば航空会社に対しての使用を固定化するのはやめて欲しい。他にも必要な用途はいろいろあるからである。また、利権の温床になる。	奄振交付金は、奄美群島の自立的発展、住民の生活の安定及び福祉の向上、定住の促進を図ることを目的として、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は住民生活の利便性の向上などに資する事業を支援するものであり、奄振計画に基づき地元市町村の要望を踏まえながら事業を実施しているところです。 例えば、航空運賃の軽減については、奄美群島の住民の方々等の生活を圧迫する割高な移動コストを軽減することにより、離島住民等の負担軽減を図ることを目的として実施しているところです。
6	観光については奄振交付金からはずれ、環境庁と鹿児島県で財源を確保してもらえればと思う。	奄振交付金は、奄美群島の自立的発展、住民の生活の安定及び福祉の向上、定住の促進を図ることを目的として、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は住民生活の利便性の向上などに資する事業を支援するものであり、奄振計画に基づき地元市町村の要望を踏まえながら事業を実施しているところです。 なお、奄振計画においては、国内外からの誘客の促進や、一人あたりの観光消費額増加に向けた施策の推進など、観光振興を重点分野として位置づけているところです。
7	航空会社への交付金は地元ホテル、レンタカーへの間接的な補助としてはおおきな効果があったと思う。鹿児島奄美5000円の実現を目指して欲しい。	奄美群島の住民の方々等の生活を圧迫する割高な移動コストを軽減することにより、離島住民等の負担軽減を図ることを目的として、航空運賃・航路運賃の軽減を実施しているところです。 ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。

8	奄振の公共部門において、なぜ地元で金が落ちないかを研究し、例えば元受企業が必要とされるならば、その設立に動いてほしい。推測するに下請け人件費しか地元にお金は落ちないのではと思う。	公共工事の発注にあたっては、地域性に配慮し、地元企業の受注機会の確保に努めており、また、工事受注者が一部を下請けに付する場合は、地元建設業者の優先活用に努めていただくなど、地元建設関連産業の活性化に取り組んでいるところです。 ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
9	開発基金は鹿児島県がまずは、欠損額を補填して欲しい。	奄美群島振興開発基金は、国の独立行政法人であるため、県が欠損額を補填することは困難と考えています。 一方、同基金は、奄美群島の自立的発展を図る上で必要不可欠な存在であることから、県としても、国に対し、同基金の安定的な運営のため、十分な支援を行うよう要望することなどを検討してまいります。
10	観光については周遊券を発行すれば、奄美大島の客を他の島へ送り込むことになると思う。	奄振計画において、航空会社や旅行会社とタイアップした奄美群島各島の周遊ツアーや沖縄等と組み合わせた広域的な旅行商品の造成支援等を進め、奄美群島の認知度向上とともに、更なる誘客を図ることとしています。
11	船が出ない場合に貨物専用の飛行機を飛ばして欲しい。	ご意見にあるような施策の実施は困難と考えますが、荒天等により船が欠航する場合の物資の確保・輸送については、奄美群島市町村等と連携し、取り組んでまいります。
12	奄振にかかわるかどうかはわからないが、防衛医大の分院（本院のNO2、4の医師に来てもらう）の設立、防衛高校の設立を考慮して欲しい。奄美フーサルでもいいのだが、学校設立を試みて欲しいわけである。	奄振計画において、新たな高等教育機関の設立に向けて、まずは大学の共同キャンパス構想について、奄美大島総合戦略推進本部の有識者会議における意見具申や、関係市町村長の判断等を踏まえて検討することとしています。 また、高等教育機関や試験研究機関の設立に係るその他の動きがある場合は、必要な情報共有や支援等について検討することとしています。
13	移住者の話であるがUターン者を望み、大島紬の織子を公務員にできないかと考えて欲しい。	奄振計画において、本場奄美大島紬については、島外の若者等のインターンシップや地域おこし協力隊等の活動など、移住促進対策と連携した後継者の確保・育成に向けた取組を促進することとしています。
14	（多分ピーチの撤退、黒糖焼酎の売り上げ減少などが近い将来予想される。）目標は群島民の所得向上一本にしぼり、政策を実現していただきたい。	奄美群島における振興開発の状況を適時的確に把握し、それを踏まえて適切な施策を講じるため、諸施策の目的の明確化と評価・検証を行うことが必要であると考えています。 このため、施策・事業の効果を評価するための目標を設定しているところですが、本計画の目標に掲げていない定量的な指標についても、事業の実施に伴って把握する必要が生じた際には、適宜設定の上、把握・分析に努めてまいります。
15	奄美諸島に眠る「道の島時代」の古道を再生 国道や県道に繋がります。主に草刈り作業（NPOなどによる）でスタート可能。 鹿児島県の「歴史ロマン街道」に繋がりをさらに人気の観光コースになります。 沖縄県とも連携すればふるさとへの街歩き、歴史探訪の大きなうねりを起こせます。	奄振計画において、「観光の稼ぐ力の向上」が掲げられており、滞在型・着地型観光プログラムづくりを促進することとしております。 いただいたご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。